

各 位

会社名 株式会社 栄 電 子
代表者名 代表取締役社長 津田 百子
(東証スタンダード・コード7567)
問合せ先
役職・氏名 取締役 大久保 雅文
電話 03-6385-7240

2025年3月期第2四半期(中間期)業績予想と実績値の差異
及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2024年5月14日に公表いたしました2025年3月期第2四半期(中間期)の連結業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたのでお知らせいたします。また、最近の業況を踏まえ2025年3月期の通期業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2025年3月期第2四半期(中間期)連結業績予想と実績値の差異(2024年4月1日~2024年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想値(A)	百万円 3,780	百万円 99	百万円 110	百万円 69	円 銭 13.78
実績値(B)	3,208	41	54	21	4.29
増減額(B-A)	△571	△57	△56	△48	—
増減率(%)	△15.1	△57.9	△50.9	△68.9	—
(ご参考)前期第2四半期実績 (2024年3月期第2四半期)	4,616	224	240	161	31.79

2. 2025年3月期通期連結業績予想の修正 (2024年4月1日~2025年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回予想値(A)	百万円 7,560	百万円 185	百万円 200	百万円 131	円 銭 25.80
今回予想値(B)	6,585	113	130	85	16.92
増減額(B-A)	△975	△71	△69	△45	—
増減率(%)	△12.9	△38.7	△34.7	△34.4	—
(ご参考)前期連結実績 (2024年3月期)	8,366	319	341	230	45.43

2. 修正の理由

当第2四半期(中間期)において、半導体需要は生成AI関連を中心に回復の兆しがあるものの、当社主力市場である半導体製造装置関連顧客では、依然として生産部材の在庫を抱える状態が継続し、期初の想定以上に受注が低調に推移したことから、売上高は予想値を下回りました。

利益面では、遊休不動産の処分を検討する中で、市場価格の下落していた資産について減損損失17百万円を計上しました。また、半導体価格が高騰した際、当社が委託する製品の製造に必要な部材価格が一時的に急騰しました。この影響で、製造コストが当社と合意していた取引価格を超過していた

として一部取引先から損失補填の要請を受け、社内で慎重に検討した結果、交渉の長期化が当社の事業に与える影響等を総合的に勘案し、当社が20百万円を追加負担することで合意いたしました。これを損失補填金として特別損失に計上しております。

以上のことから当第2四半期（中間期）の連結業績は、当初予想値を下回る結果となりました。

中長期的には、情報通信技術の拡充に伴うデータ社会への移行、脱炭素社会への取り組み等を背景に、半導体市場はさらなる成長が期待されますが、先行きの不透明感から受注の回復時期が見通し難い状況が続いております。通期の連結業績予想につきましては、第2四半期までの業績を踏まえて売上高・利益ともそれぞれ修正いたしました。

（注）上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる場合がございます。

以上